

2025/4月

TSUDOI

# 【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(4月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

## 本レポートコンテンツ

### ◆ 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

### ◆ 『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

## 継続分析レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。



とは TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

## 『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

1. 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
2. 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Biconomy	2024年 4/5	Aerodrome Finance	2024年 9/20
Raydium	2024年 11/22, 2025年 1/24	Metis	2024年 4/26, 5/10	Worldcoin	2024年 11/1
Virtuals Protocol	2024年 12/13	Taiko	2024年 6/7, 11/13	ai16z	2025年 1/17
Starknet	2024年 3/8	Hyperliquid	2024年 12/20	Ethena	2025年 2/7
Manta Network	2024年 3/8, 7/5	Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9, 9/26, 11/1, 11/22, 12/6	Pyth Network	2025年 2/21
Axelar	2024年 3/14	MANTRA	2024年 7/19	Saros	2025年 4月 4日
		Jupiter	2024年 8/2		

※2023年 Goodマーク付与銘柄：ORDI, Celestia, Blur, Terra Classic

## Axelar : AXL

### 直近の注目ポイント：Axelar、XRPL互換でDeFi資金流入・需要拡大へ

4/1 Axelarは、XRP Ledger (XRPL) のEthereum互換サイドチェーン開発に参加し、独自のクロスチェーン技術「Squidrouter」を提供した。これにより、EthereumユーザーがMetaMaskなど既存のウォレットから簡単にXRPLネットワークへ資産移動できるようになるため、EthereumのDeFi資金がXRPL上に流入するシナリオが現実味を帯びてきた。特にEthereumで開発経験が豊富な開発者がXRPLの高速かつ低コストな環境を求めて流入すれば、長期的にAxelarのインフラ利用が増え、AXLトークン需要の拡大につながる。また直近のCobaltアップグレードによりAXLトークンの一部がバーン（焼却）される仕組みが導入されたため、ネットワークの利用拡大に伴いAXLの需給が一層引き締まり、価格上昇へのポジティブな要因となる可能性があります。

## Ondo : ONDO

### 直近の注目ポイント：RWA市場急成長、OndoやBlackRockが牽引役に

RWA（実物資産トークン化）市場がBlackRockやOndo Financeなどの牽引により本格的な成長期に入った。BlackRockが提供する『BUIDLファンド』は、米国債など伝統的資産をEthereumやSolana上でトークン化し、3週間で運用資産が18億ドルを突破。Ondoも米国債のオンチェーン化で1万5000名以上のユーザーを獲得し、新たに株式やETFのオンチェーン市場「Ondo Global Markets」の立ち上げを推進しています。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

### Starknet : STRK

Starknetは2025年3月26日に最新バージョンv0.13.5をリリース。今回のアップデートでは「ステート差分の圧縮」が導入され、Ethereumのレイヤー2として、取引コスト削減・処理能力の向上によるスケーラビリティ改善を実現しました。これにより運用コストが減少し、今後のネットワーク普及拡大につながる可能性があります。

### Taiko : TAIKO

Taikoは4月8日、大手フィンテックアプリRevolutにトークン「TAIKO」を上場。世界50カ国、4500万人のユーザーに直接提供可能となり、TAIKOの流動性や認知度向上に寄与するとみられる。Vitalik氏が推奨する「Based Rollup」を初採用し、Ethereumの安全性を維持しつつ取引処理能力を強化した設計が特徴。直近では「Pacaya」アップデートを通じて処理性能を改善、DAOセキュリティ評議会設立により信頼性も向上したことで、中長期的な需要拡大が期待されます。

### Jupiter : JUP

Jupiter (JUP) は4月に大規模なアップグレードを発表し、特に新モバイルアプリ「Jupiter Mobile V2」と高度な取引プラットフォーム「Jupiter Trenches」が注目されています。利便性向上や高度な取引機能の提供、戦略的パートナーシップの拡大により、ユーザー層の拡大が期待できます。これらの取り組みが順調に進めば、JUPの需要は中長期的に大きく伸びる可能性があります。

## Worldcoin : WLD

3月下旬、[World NetworkはVisaとの提携に向け交渉中](#)で、ステーブルコイン機能を持つ自己管理型ウォレットを開発予定です。実現すれば、Visaのグローバルな加盟店網でステーブルコインを使った決済が可能になり、[法定通貨とのスムーズな交換にも対応します](#)。伝統的な金融とデジタル資産の融合が進むことで、ステーブルコイン普及促進のきっかけとなり、仮想通貨の実需拡大につながる可能性があります。

## Ethena : ENA

4/15 Ethena Labsは[ブロックチェーン再保険企業Reと提携し、独自ステーブルコインsUSDe・\\$USDeをリアル世界の再保険市場に組み込む取り組みを開始](#)しました。トークン保有者は保険会社の準備金として資産をロックし、従来とは異なる実需ベースの報酬を得られます。実際の保険ニーズと連動することで、中長期的にはトークンの実用性が高まり、需要拡大に繋がる可能性があります。

## Pyth Network : PYTH

Pyth Networkは[月間取引量750億ドルを記録し、SolanaやAptosなど主要チェーンでの普及を拡大中](#)です。Magic Eden、GMXなどのプラットフォーム統合に加え、規制対応も進めています。短期的に価格は低迷していますが、今後クロスチェーンDeFi市場が拡大し、オラクル需要がさらに増加すれば、中長期的にPYTHトークンの需要回復と成長に繋がる可能性があります。※5月20日には、最大供給量の21.3%のトークンが[アンロックされる予定のため、売り圧力に注意が必要](#)となります。

## Saros : SAROS

直近のSaros (SAROS) は、Solana基盤で[オールインワンのサービスを提供する「Web3スーパーアプリ」を目指し、大型アップグレードを実施](#)しました。今回のアップグレードでは、ユーザーの利便性向上を狙った新プロダクトの追加や、操作性を高めるためのUI/UXの大幅な改善が行われています。短期的には、新機能の浸透とユーザー数の伸びが価格回復の重要なポイントとなります。一方で、Solanaエコシステム全体の成長や市場環境にも影響されやすく、中期的にはプロジェクトの発展次第で再評価が期待されます。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Ethereum Name Service（フォロワー数3カ月連続増加）、Raydium（フォロワー数12カ月連続増加）、Biconomy、Metis、Aerodrome Finance（フォロワー数12カ月連続増加）、ai16z（フォロワー数5カ月連続増加）

徐々にフォロワー減少中：MantaNetwork

# 過去週次レポート掲載 大穴銘柄 継続分析ガイド

## Goodマーク大穴・新規銘柄の継続調査

### 調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

### 2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Xai	2024年 1/19	Saga	2024年 4/12	Morpho	2024年 12/6
Manta Network	2024年 1/19	Omni Network	2024年 4/19	NAVI Protocol	2024年 12/13
Ondo	2024年 1/26	Merlin Chain	2024年 4/26	Orca	2024年 12/13
Metis	2024年 1/26	BounceBit	2024年 5/17	Pangolin	2024年 12/20
Dymension	2024年 2/9	Taiko	2024年 6/7	Origin Protocol	2024年 12/6
Aevo	2024年 3/14	io.net	2024年 6/14	Velodrome Finance	2024年 12/20
ether.fi	2024年 3/22	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5	DeepBook Protocol	2025年 1/10
Ethena	2024年 4/5	LayerZero	2024年 7/5	Arcana Network	2025年 1/17
Wormhole	2024年 4/5	SaucerSwap	2024年 11/22	RedStone	2025年 3/14

※2023年 Goodマーク付与銘柄：Arkham

※今回の継続調査にて新規Goodマーク付与する銘柄はありませんでした。  
 ※Manta Network、Metis、Taiko、Ondoは、中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

## 継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

### Wormhole : W

Centrifugeが「Centrifuge V3」のローンチにあたり、Wormholeを採用し、リアル資産（RWA）のマルチチェーン間トークン化を実現しました。Wormholeが提供する安全かつシームレスな資産移転とチェーン間の相互運用性が評価され、RWA分野に注目している機関投資家の関心が高まる可能性があります。今後、こうした用途が拡大すれば、Wormholeの独自トークン需要も中長期的に増える可能性が見込めます。

### BounceBit : BB

BounceBitは、DigiFT(シンガポールのMASライセンスを受けたRWA取引所)と提携し、スイス最大の銀行であるUBSのトークン化されたマネーマーケットファンド「uMINT」のステーキングを可能にしました。これにより投資家は機関投資家向けの伝統的金融商品をCeDeFiで簡単に運用できるようになり、安定的な利回りが期待されます。今後、RWAsへの関心が高まり、規制環境が整えば、BounceBit関連トークンの中長期的な需要が拡大する可能性があります。

### Layer Zero : ZRO

LayerZeroは、異なるブロックチェーン間でのステーブルコイン移転を容易にするプロトコルとして実需を拡大中です。直近では、PayPalのPYUSDのEthereumとSolana間での送金を支援し、利便性向上に貢献しています。また、米ワイオミング州が発行する州公式ステーブルコイン「WYST」の技術提供を担うなど、実際の経済活動と連動したユースケースを着実に増やしています。

### Morpho : MORPHO

Morpho LabsのDeFiプロトコルで約260万ドルが盗まれる事件が発生しましたが、善意の第三者（ホワイトハッカー）が迅速に介入し、被害の拡大を阻止しました。原因はアップデートによる脆弱性でしたが、現在は修正され、ユーザーの資産は安全です。事件自体はネガティブですが、迅速な対応により信頼回復の可能性もあるため、総合的にはポジティブ要素も一部含まれています。

### Orca : ORCA

SolanaのDEX「Orca」は、トークン供給量の25%バーンを含む重要なガバナンス提案や、Solana対応のKASTデビットカード特典など、継続的な機能改善が評価され、短期的な投資家から信頼を得ています。中長期的には、これらの施策によって流動性や利便性が向上し、利用者が増加すれば、独自トークン（ORCA）の安定的な需要拡大が見込まれる可能性があります。

### RedStone : RED

MakerDAOのサブDAOとして知られるSparkが、RedStoneと提携し、ユーザーのオンチェーン活動を促す「Spark Rewards」を開始しました。その初回イベント「RED Season」では、Ethereum上でSparkLendスマートコントラクトにcbBTCを提供した参加者に対し、約600万ドル相当（1150万枚）のREDトークンを報酬として配布します。なお、イベントはすでに2025年4月16日現在、開催中とのこと。中長期的にREDトークン需要増加が期待されます。

※執筆現在のREDトークンの市場規模（時価総額）は約9,850万ドルであり、今回の600万ドル相当の報酬配布は市場規模の約6%に相当します。この規模のトークン配布は、短期的には流通量の増加により一定の売り圧力を生じさせる可能性があります。中長期的にはプロジェクトへの関心や流動性を高める効果が期待できるため、相応のインパクトをもつと考えられます。

直近のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：SaucerSwap（フォロワー数5カ月連続増加）、NAVI Protocol（フォロワー数4カ月連続増加）、Velodrome Finance（フォロワー数5カ月連続増加）、Deepbook Protocol（フォロワー数8カ月連続増加）

徐々にフォロワー減少中：Xai、Dymension、Aevo、ether.fi、Omni Network、io.net、Artificial Superintelligence Alliance、Pangolin、Origin Protocol、Arcana Network

#### 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

#### 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>